

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:平成28年度】

(②福祉施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市総合福祉センター			担当課名	福祉課		
区分		内容・説明						
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市総合福祉センター条例						
	(2)施設設置目的	市民の健康増進及び福祉の向上を図るため。						
	(3)施設が有する設備、機能の概要	福祉活動館(974.72㎡ 体育館)、本館(1,883.04㎡ 1F シルバー人材センター・心身障害児学童保育所かざぐるま、2F 社会福祉協議会・共用会議室、3F 掛川児童交流館・ことばの教室)、東館(342.90㎡ 1F 心配ごと結婚相談室、2F 社会福祉協議会障害福祉部門)、多目的広場(8,040.00㎡)、南広場(1,836.70㎡)、駐車場(6,750.00㎡ 駐車台数231台・身障者用駐車台数11台)						
	(4)施設建設年度	平成20年度(開設年度)						
	(5)耐震性能の有無	構造部材(有)、二次部材(無)						
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	各館の修繕工事						
	(7)指定管理者名	公益社団法人 掛川市シルバー人材センター						
	(8)指定期間	平成28年4月1日 から 平成31年3月31日 まで						
	(9)債務負担行為設定の有無	<input type="checkbox"/> 設定あり <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし ※設定ありの場合、(期間 平成 年度～平成 年度) (限度額 千円)						
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営						
	(11)自主事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
	(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし							
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成28年度)							
区分		H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考		
(1)施設利用者数	(目標値)				30,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。		
	(実績値)	29,384	29,173	29,671				
内訳 (施設・設備ごと)	福祉活動館	20,237	19,788	18,837				
	多目的広場	9,147	9,385	10,834				
2 利用状況	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓	
	福祉活動館	A平日昼間	166.8%	142.7%	157.0%		利用団体数609÷(コート数2×日数194)	
		B平日夜間	75.5%	78.0%	73.5%		利用団体数285÷(コート数2×日数194)	
		C土日祝昼間	120.0%	135.8%	135.0%		利用団体数305÷(コート数2×日数113)	
		D土日祝夜間	64.5%	74.3%	64.2%		利用団体数145÷(コート数2×日数113)	
	多目的広場	A平日昼間	93.3%	80.8%	95.9%		利用団体数186÷(コート数1×日数194)	
		B平日夜間						
		C土日祝昼間	109.1%	119.5%	126.5%		利用団体数143÷(コート数1×日数113)	
		D土日祝夜間						
	(定員 人)	A平日昼間						
		B平日夜間						
		C土日祝昼間						
D土日祝夜間								

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		138	150	181			
	(3)運営日数		304	306	308	310		
	(4)運営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
②臨時職員		4.0	4.0	4.0	4.0			

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	2,641,894	2,822,880	2,900,646	2,870,350	
	②印刷費	47,250	74,520	170,640	59,000	
	③通信費	100	0	0	20,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	417,284	583,996	470,866	410,541	
	⑤借上料	344,422	263,330	676,538	450,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	617,190	641,868	1,113,053	1,167,222	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	0	3,748	39,636	20,000	
	計	4,068,140	4,390,342	5,371,379	4,997,113	
	対前年度増減率		7.9	22.3	△ 7.0	
区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	175,653	264,117	2,311,576	2,009,000	
	消防設備保守点検	75,600	75,600	531,576	476,000	
	浄化槽保守点検	93,553	93,553	954,193	887,000	
	浄化槽法定検査	6,500	6,500	31,000	32,000	
	セコム業務委託	0	88,464	136,871	0	
	エレベーター保守点検			435,456	404,000	
	電気工作物保安			187,920	175,000	
	自動ドア保守点検			34,560	35,000	
	②修繕費	790,604	800,150	1,334,468	850,000	
	③光熱水費	712,544	711,775	2,066,965	2,307,000	
	④燃料費	0	0	0	0	
	⑤清掃費	2,315,140	1,909,561	3,356,612	3,991,275	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	20,919	4,055	0	145,612	
計	4,014,860	3,689,658	9,069,621	9,302,887		
対前年度増減率		△ 8.1	145.8	2.6		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	8,083,000	8,080,000	14,441,000	14,300,000		
(4)合計のうち運営コストの割合	50.3	54.3	37.2	34.9		
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	554,660	548,580	601,040			
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	13.6	12.5	11.2			

III 収支差額の状況

注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設使用料収入	554,660	548,580	601,040	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	8,083,000	8,080,000	14,441,000	H28より、指定管理の範囲拡大(本館、東館)
収支差額 a) - b)	△ 7,528,340	△ 7,531,420	△ 13,839,960	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	85%	99.37%	3	
B サービス内容の満足度	85%	99.37%	3	
C 従業員対応の満足度	85%	98.73%	3	
D 施設安全対策の満足度	85%	100%	3	
E 美観・清潔感の満足度	85%	100%	3	
F 施設の利用者数	30,000人	29,671人	2	【達成できていない点・主な課題】 多目的広場は、前年度に比べ夏場の天候に恵まれたこともあり、団体数(+38)、利用者数(+1,449)ともに増加した。 福祉活動館は、団体数は増加(+17)したものの、一利用団体の参加人数が少ないため、利用者数は減少(-951)してしまい、目標に届かなかつ

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	/	【達成できていない点・主な課題】 前年度まで市が直接実施していた本館及び東館の管理運営業務を新たに指定管理業務に追加したことにより、指定管理料が大幅に増加したため収支差額(赤字)が増える結果となった。
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	前年度と同等の収支差額になっている。		
0	前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 施設が老朽化してきている。 【いつまでに、どのように対応するか】 施設利用者等から事故報告は受けていないし、緊急時の連絡体制、地震発生時の措置等危機管理マニュアルは作成されており、危機管理体制は万全だと思われるが、施設も老朽化しているため、施設全体の点検を実施すること。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 市民の健康増進及び福祉の向上を図るといふ当施設の設置目的に照らし、高齢者・障害者の支援や児童・生徒の健全育成に関わる使用の際には利用料の減免が必要になっている。 【いつまでに、どのように対応するか】 広く市民に使用してもらい、その目的を達成することが第一であること、また、老朽化に伴い今後各所に修繕が必要となることも考えられるため、その費用の膨張を考慮し、減免対象者の見直しを検討する。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

27

/ 30

V その他自由意見

--